

## I 事業の実施状況

公益財団法人河内長野市勤労者福祉サービスセンターは、昭和54年に財団法人河内長野市勤労市民互助会として発足以来、市内の中小企業で働く方々の福利厚生事業を実施し、産業の振興に寄与してまいりました。平成25年4月からは公益財団法人格を取得して、新たなスタートを切りました。

サービスセンター事業は、常に会員のニーズを把握し、満足していただけるサービスを提供し、事業の広域化として、近隣のセンターとバスツアー等を共同開催し、会員の皆様方に喜ばれる事業を実施してまいりました。

運営面では、事務の効率化を図るため、河内長野市商工会に事務所を移転し、会員拡大を最重要課題として、河内長野市商工会の協力のもと積極的に取り組み、会員増強に努めてまいりました。

## II 会員拡大の取り組み

### 1. 会員の状況

#### (1) 年度別状況表

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
入会者数	24 人	57 人	128 人
退会者数	155 人	113 人	112 人
増減	-131 人	-56 人	16 人
年度末会員数	912 人	856 人	872 人
年度末事業所数	219 事業所	205 事業所	205 事業所

#### (2) 平成25年度月別入退会状況表

	入会		退会		累計	
	事業所数	会員数	事業所数	会員数	事業所数	会員数
25年 4月	1	24 人	3	23 人	203	857 人
5月	0	6 人	1	17 人	202	846 人
6月	1	6 人	2	8 人	201	844 人
7月	1	14 人	0	9 人	202	849 人
8月	0	3 人	1	4 人	201	848 人
9月	0	27 人	1	5 人	200	870 人
10月	0	3 人	3	19 人	197	854 人
11月	1	1 人	1	5 人	197	850 人
12月	0	3 人	1	4 人	196	849 人
26年 1月	4	5 人	1	2 人	199	852 人
2月	1	15 人	2	10 人	198	857 人
3月	8	21 人	1	6 人	205	872 人
合計	17	128 人	17	112 人		

## 2. 広報活動

市内中小企業及び勤労者市民に対して、当サービスセンター事業の趣旨及び事業内容等について、広報活動を行った。

### (1) ラークニュースの発行

事業内容等の案内・斡旋等掲載の充実を図り、平成25年9月発行分までは、1事業所に一部発送していたものを平成25年10月より各事業所に会員数分を発送した。発行部数として、5,134部発行した。

### (2) ホームページの充実

会員にホームページの周知を図り、リアルタイムな事業内容等の掲載を行うことで、会員の事業参加率の向上を図った。

### (3) 河内長野市商工会との連携

商工会会員あての郵送物（平成25年7月発行の商工会報）に当サービスセンター入会案内を同封したり、経営指導員による巡回・窓口指導・確定申告時（平成26年2月10日～3月17日）の際に入会案内を行うことで会員増強に努めた。

## Ⅲ 中小企業勤労者等の福利厚生事業

### 1. 慶弔給付事業 【事業費 13,874,498円】

#### (1) 全福ネット慶弔給付事業

会員を対象に、(一社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの全福ネット慶弔給付を活用し、各種祝金・弔慰金・見舞金（収益事業等は※3種類）の給付を行った。

給付項目	給付事由	金額(円)	件数(件)
結婚祝金 ※	会員が結婚したとき	20,000	10
結婚記念祝金 ※	銀婚祝(25周年)	10,000	4
	珊瑚婚祝(35周年)	20,000	3
	金婚祝(50周年)	30,000	1
子の出生祝金 ※	会員又は会員の配偶者が出産したとき	10,000	19
子の就学祝金	子の小学校入学	10,000	25
	子の中学校入学	10,000	23
傷病休業見舞金	休業14日以上30日未満	10,000	2
	休業30日以上60日未満	20,000	10
重度障害見舞金	会員のすべての重度障害(65歳未満)	100,000	0
	会員のすべての重度障害(65歳以上)	50,000	0
死亡弔慰金	会員の死亡(71歳未満)	100,000	1
	会員の死亡(71歳以上)	50,000	1
	配偶者死亡	50,000	1
	子死亡	30,000	0
	親死亡	10,000	8
勤続祝金	勤続10年	10,000	22
	勤続20年	20,000	20
	勤続30年	20,000	10
	勤続40年	30,000	7
退会餞別金	在会5年以上	5,000	19
	在会10年以上	15,000	50
		合計	236

(2) 平成20年度以前の旧慶弔給付事業（平成24年度制度改正に伴う経過措置）

給付項目	給付事由	金額（円）	件数（件）
退会餞別金	在会 3年以上	記念品	12
	在会 10年以上	20,000	7
	在会 15年以上	100,000	13
	在会 20年以上	200,000	24
		合計	56

(3) 平成21年度以降の新慶弔給付事業（平成24年度制度改正に伴う経過措置）

給付項目	給付事由	金額（円）	件数（件）
退会餞別金	在会 3年以上	記念品	18
	在会 10年以上	20,000	4
	在会 15年以上	30,000	0
	在会 20年以上	50,000	0
	在会 25年以上	70,000	0
	在会 30年以上	100,000	0
		合計	22

2. 老後生活安定事業

独立行政法人勤労者退職金共済機構と連携し、中小企業に働く従業員の老後生活の安定を図ることを目的とした退職金制度「中小企業退職金共済」等の案内・加入斡旋を行った。

3. 余暇活動事業 【事業費 6,399,220円】

(1) レクリエーション事業

会員相互の親睦や会員及びその家族とのふれあいを深めるため、映画・コンサート・スポーツ等のレクリエーション行事を行った。

① 文化鑑賞事業

ラブリーホールやチケットぴあ等を通じて、コンサート・スポーツ観戦・映画・美術館等、鑑賞券の一部補助（100円～500円）を行った。

内容	利用者数
チケットぴあ入場券斡旋（コンサート・スポーツ）	72人
映画鑑賞券斡旋	704人
美術館等鑑賞券斡旋	84人
観劇事業（ラブリーホール・すばるホール等）	7人
4事業合計	867人

② レジャー施設利用助成事業

レジャー施設と法人契約・利用契約を結び、会員等の余暇活動の充実を図り、会員と家族には、一部利用補助（100円～500円）を行った。

内容	利用者数
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	19人
東京ディズニーリゾート	12人
長島スパーランド	45人
伊勢志摩スペイン村	12人
海遊館	135人
みさき公園	46人
ハーベストの丘	6人
7事業合計	275人

③ その他利用事業

チケット等の一部利用補助（100円～500円）を行った。

内 容	利用者数
スルッと KANSAI 利用券斡旋	500人
QUO カード利用券斡旋	120人
ジェフグルメカード斡旋	150人
風の湯利用券斡旋	550人
トイカード斡旋	50人
ミスタードーナツ利用券斡旋	50人
マックカード斡旋	300人
食博覧会入場券斡旋	44人
舞洲ゆり園入園券斡旋	13人
臨海スポーツセンターアイススケート利用券斡旋	18人
その他チケット斡旋	13人
11事業合計	1,808人

(2) 大阪府内互助会・サービスセンター共同事業

個々の互助会・サービスセンター単独では予算的・人員的に実施が困難な事業や既存事業の更なる拡充を図るため、大阪府内21団体により設立された「大阪地区勤労者福祉事業拡充委員会」（愛称：おおきにnet）に参画し、大阪府内で広域的な展開が見込めるサービス事業を実施した。

- ① おおきにnet参画団体が個別に契約しているサービス等を各団体の会員が相互に共同利用できるようネットワークを構築した。南大阪地域では、情報誌「ぱど」と提携し、割引共同利用店舗網のサービスの拡充を図った。
- ② バスツアー・釣り大会・婚活パーティなど多様な会員ニーズに応じたイベント事業を企画し共同開催した。

内 容	利用者数
天王寺動物園入園券斡旋	14人
婚活パーティ	2人
釣り大会	8人
なばなの里入園券斡旋	21人
ビジネスマナー教室	1人
5事業合計	46人

- ③ 泉州地域（堺市・高石市・岸和田市・貝塚市・泉佐野市）・河内地域（藤井寺市・河内長野市）の7市による連絡会議を実施し、南大阪地域に密着した情報の共有化と共同事業を行った。

内 容	利用者数
ひらかたパーク入園券斡旋	74人
蓬莱 豚まん体験	8人
なんばグランド花月斡旋	11人
楓林閣 ビアガーデン斡旋	29人
バスツアー	10人
スイスホテル バイキング斡旋	12人
6事業合計	144人

#### 4. 健康管理事業 【事業費 162,000円】

(一財)大阪労働協会と連携し、会員の健康維持増進を図るため、人間ドック・成人病検診の補助を行うとともに、会員制スポーツクラブ等健康増進施設の利用等、健康管理に関する事業を行った。

内 容	利用者数
人間ドック補助 (35歳以上5,000円・3,000円補助)	26人
成人病検診補助 (35歳以上1,000円補助)	6人
スポーツクラブ利用券補助	30人
3事業合計	62人

#### 5. 宿泊補助事業 【事業費 364,000円】

大手旅行会社・全国のホテル・旅館等と宿泊利用契約を結び、一部利用補助(会員3,000円年間1泊)を行い、会員等の余暇活動の充実を図った。

また、(一財)大阪労働協会の福利厚生事業に加入し、契約宿泊施設の宿泊料金の一部補助を実施した。

内 容	利用者数
宿泊補助 (年度内1回 会員3,000円補助)	119人
河内長野荘 利用補助	7人
2事業合計	126人

#### 6. 自己啓発事業 【事業費 117,500円】

##### (1) 勤労者のスキルアップ事業

年金講座などの講習会開催を他の互助会等と企画し、参加費の一部補助も行き、勤労者の職業能力向上を図った。

内 容	利用者数
年金等ライフセミナー	0人

##### (2) 文化教養促進事業

文化教養の向上を目的とした通信講座やカルチャーセンター等の入会金・受講料の割引等を行った。

内 容	利用者数
NHK学園	0人

##### (3) その他事業

図書カードを会員に一部利用補助を行い、一般より安価な価格で斡旋した。

内 容	利用者数
図書カードの斡旋	120人

#### IV. 理事会・評議員会の開催状況

##### 1. 理事会

	開催日	案 件
第 1 回	平成25年5月14日	議案第1号 平成24年度事業報告について 議案第2号 平成24年度収支決算報告について 議案第3号 平成25年度第1回評議員会開催について 議案第4号 平成25年度収支予算(案)について 議案第5号 専務理事の選任について
第 2 回	平成26年2月6日	議案第1号 平成25年度補正予算(案)について 議案第2号 平成26年度事業計画(案)について 議案第3号 平成26年度予算(案)について 議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて

##### 2. 評議員会

	開催日	案 件
第 1 回	平成25年5月29日	議案第1号 平成24年度事業報告について 議案第2号 平成24年度収支決算報告について 議案第3号 監事の選任について